

放置竹林解消のための「竹の循環システム」の構築

● 森林整備活動(約10~12名/日で、年間120日~130日実施)



● 伐り出した竹の有効活用(資源化)

平成27年度基山町さが段階チャレンジ交付金事業

③竹の資源化

「さが段階チャレンジ交付金」事業提案内容
 目的: 放置竹林の解消を行ない、事業としての自立化を図る。このため、「竹の循環システム」を構築

- ・伐採した竹から「竹チップ」「竹パウダー」を製造
- ・畜産農家と連携し、これを敷料として利用
- ・「きゅう肥」を作り、耕種農家が肥料として使用
- ・多くの市民が参加する「市(町)民活動」にしていく

↑
これを産学官民で実施

竹細工・竹製品、竹の乳酸菌酵母液
 竹炭・竹酢液・竹パウダー・竹堆肥

農畜産家と共同開発

- ・土壌改良
- ・畜産飼料配合
- ・畜舎の抗菌

農畜産に活用し、ブランド化を追求

地域の活力向上

※活用できてないもの
 枯れ竹、枯れ木の大量に発生

「消し炭」にして
 牛舎の敷料に混入

- ・浄化槽、建築用の竹炭
- ・食材としての竹パウダー

販売

利益を会員に還元
 その一部を
 ボランティア通貨
 の原資に

④地域通貨の創出

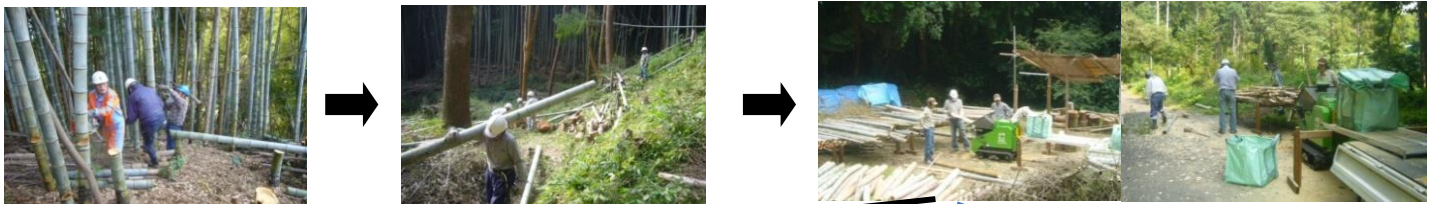
燃料に活用



竹チップ作り

竹きり

竹の搬出



田畑への肥料 → 米、野菜作り (宮浦地区、アビオスファーム) → 収穫 → 販売

農家を募集中

九州大学: 竹チップ、きゅう肥施用土壌の成分分析

牛のきゅう肥(堆肥)

竹チップを牛の敷料(2W毎交換)に使用



10日目

29日目



敷料交換後14日目(27.8.11)